

市では、子どもたちが健やかで幸せに成長できるよう、子ども・子育てにやさしい社会づくりに取り組んでいます。そこで、「子育て」に関する特集記事(全3回)を掲載し、子育て家庭や保育に携わる方、市の取り組みなどを紹介します。☎こども支援課 ☎443-2252

第1回目のテーマは「共働き・共家事・共育て」です。

夫婦が互いに協力し、家事や育児を分担する大切さを、松田さん夫婦(富山市在住)に聞きました。

家事と育児の分担をルール化

松田さん夫妻には、朝のルーティンがあります。恭平さんが午前5時に起床し、すぐに掃除機をかけ、娘さんの眼鏡の洗浄や水筒の用意、食洗機の片付けをして会社へ出勤します。その後は悠さんが引き継ぎ、娘さんらと朝食を済ませ、保育園へ送り届けます。ほかにも学童保育や保育園からの連絡を受けるのは恭平さん、それに対処するのは悠さんというように、夫婦で何をどう分担するかのルールが作られています。

家事と子育てについての決めごとは、当初からあったわけではありません。「自分がやりたいことや気持ちの不安定さもあり、喧嘩になることもありましたが」と、夫妻は新婚当手を振り返ります。

チャレンジや学びを大切にする

2人は互いの性格を理解しながら家事や子育てを分担してきました。悠さんは自分のやりたいことに全力で挑戦し、仕事に没頭する性格です。富山市の男女共同参画についての情報を載せた「あいのかぜ」の編集委員を務めた経験もあり、常に前へ突き進んでいます。恭平さんは計画に沿って自分のペースを守りたい、安定を望む性格です。悠さんが会社の経営者となったとき、出張で帰りが遅くなる時、論理的に物事を考えるのが得意な恭平さんが家事や育児のルールを考え直し、2人で守ってきました。恭平さんは家事に対する意識を高めるために、富山市の「家事ダン」マイスターも取得しています。ものの場所を決める整理収納、汚れに合わせた掃除など、講座での学びを家庭で実践しています。



周りのサポートが心の余裕を生む

Uターン後に、恭平さんの実家で同居する選択をしたのは、心にゆとりを持って暮らすため、恭平さん両親の意見も聞いた上で一緒に住む決断をしました。「家に自分たち以外の大人がいるのは心強く、保育園のお迎えや夕食の用意など、いろんな部分で支えられています」と夫婦で感謝の言葉を口にします。

子どもに対しては、悠さんは多くの人に接する経験や機会を与え、恭平さんは時間や規則を守ることの大切さを教えるといったように、性格が違う2人だからこそ、より多くのことを子どもに伝えることができます。松田さん夫妻は、敬い合い、互いが自分らしく生きるために行動する中で、共働きしながら家事や子育てをどのように分担し、共に協力し合えるかを考え続けています。



情報交流誌「あいのかぜ」

男女共同参画への理解と認識を深めることを目的に発行しています。

最新号・バックナンバーはこちら



「家事ダン」マイスター

認定講座

男性を対象に、家事のコツを学ぶ講座を開催しています。

※今年度の受付は終了しました。

詳しくはこちら



子育てに関するセミナーや講座を開催しています。

●子育てセミナー(要予約)

子育てに関する知識や情報を得ることができます。

●お父さん・お母さんの子育て講座(要予約)

子どもの成長・発達や関わり方について学べます。

●孫育てセミナー(要予約)

孫への関わり方や育児方法について学べます。

